





モトヨリ
奉来初進帳ありは社箇の中より佳

上カ
来れまはるに巻文也 勸を後とる可

上カ
たうかよるそよそよまればさうりく

山月
松んみまはる大恩ねまの秋れ月日深葉

れ雲よおられは流もあはれあうそい夢

るへまもあはる家よ中比帝に

まはるをる武皇帝と名はなり



寂寥の婦人よわれ 意慕やそのく
涕泣眼よあはく涙玉をつめく名を
善法よひるくく 遍照形相を建てる
か行のち場つ絶あんと出さる後
桑坊沙源諸國を初と上 紙半費の
賊の世に此世あはくを比し 樂子ほる當
来中ハ叔子蓮華れとよ 向せん海命

御首敬白と夫もひびきと 續あをころ
用れんと所をき 怨をあらへ
角まきりく



信
長
五

